

Brush Up Letter

2020年11月
Vol.32

D&Nplus ブラッシュアップセンターは、妊娠期から職場復帰、子育て期・介護期の医療職者をサポートします

Contents

- キャリアカフェ 第2回 多職種フォーラム
- 第8回 ワークライフバランスセミナー
- マタニティ白衣等を利用して
- 病児保育室開室のお知らせ
- ママドクターミーティングのお知らせ



キャリアカフェ 第2回 多職種フォーラム

日時 10月20日(火) 12:00-13:00
テーマ 今を乗り切るヒント



大石 悠香
臨床検査技師



水田 直美
薬剤師



遠藤 恵理
看護師



甲田 知久
総務課職員係

職種異なる4名の方をパネリストとしてお迎えしZoomを利用した多職種フォーラムを開催しました。

当センター長の眼科教授 中村誠先生から「チーム医療を進めていく中で、お互い顔が見える関係で普段から意見交換し合えることは重要です」との開会挨拶でスタートしました。

また、消化器内科医師の塩見優紀先生による進行で“今を乗り切るヒント”をテーマに座談会形式でお話いただきました。

以下、その内容の一部をご紹介します。

【大石 悠香 臨床検査技師】

3歳女の母親。夫は会社員。遠方の両実家には頼ることができず、複数の病児保育とファミリーサポートセンターに登録して今まで乗り切ってきた。長女出産前に離職し1歳直前に当院に就職したが、子どもの度重なる発熱に疲弊しながらも、病児保育に助けもらったという思いがある。

夫との間で家事の分担を明確に決めないことが、生活する上では、やり易い重要なことだと感じている。また、家族間で合言葉を掛け合う等、日常生活でのユーモアを心掛けている。

～若い方へのメッセージ～

自分たちの力だけでは難しい場合でも色々な制度やサポートを利用することで何とかなると思っている。今、こうして両立できているのも「お互い様」感覚が根付く恵まれた職場環境が大きな要因と感謝している。若い方は、不安ばかりを感じることはないよう、まずは目の前のことを片付けていけば、どうにかなっていくものと思う。

終了後のアンケートより一部抜粋

- ・自分にも取り入れられることからやってみたいです。
- ・会場にはなかなか行けませんが、WEBだと参加しやすいです。
- ・育休中で復帰を悩んでいましたが、参加して勇気づけられました。
- ・緊急時に休める職場作りの重要性和病児保育の必要性を感じました。
- ・両立している方の声を聞く機会があることは、心強くと感じました。

【水田 直美 薬剤師】

中2男の母親。夫は会社員。県外の両実家は遠方ですぐには頼ることができず、病児保育や子供の習い事の送迎等は、ファミリーサポートセンターを利用して乗り切った。夫の転勤により離職し再就職したものの子供が小さいという理由で、やりたい仕事ができないジレンマに陥った。そこで一旦離職して大学院で学び、念願のがん専門薬剤師の資格取得したことで、目標があると頑張れるという自信にもつながった。

～若い方へのメッセージ～

職場では迷惑をかけている後ろめたさがあり、できる範囲で精一杯頑張っている。休んだときにはお詫びの言葉を忘れないように心掛けている。一方、家事は頑張らず、手を抜けるところは抜いている。仕事の大変さを理解している息子は率先して風呂掃除などを担ってくれ成長を感じている。



【遠藤 恵理 看護師】

6歳女と3歳男の二児の母親。夫は会社員。子供が病気になると、以前は県外の両親に頼ることが多かったが、現在は在宅勤務の夫に任せている。多忙な毎日だが子供とのコミュニケーションを大切に、長女とは興味を持ち始めた料理をしたり交換ノートで思いを伝えたり。家事は電化製品をフル活用し、買い物は宅配サービスを利用して時間を短縮している。

～若い方へのメッセージ～

仕事と子育ての両立に不安を感じていたが、手探りながらも夫や周りのサポートを頼って乗り越えられている。子供が病気の時「今は子供のそばにいてあげて」と理解ある職場のお陰で、仕事も子育ても頑張ることができている。家事は手を抜くところは抜いて、自分の時間を確保し息抜きすることで、仕事と子育てが成立するのだと思う。

【甲田 知久 総務課職員係】

6歳男と4歳女の二児の父親。妻は保育士。妻がシフト勤務のため、お互いの仕事の都合を考慮して家事分担を行い、その時にできる人ができることをしている。子供が病気になった時は、妻の実家に頼ることが多く感謝している。また、平日3日程度、朝4時起床し1時間のランニングが、子育てと仕事のバランスを保つ貴重な時間となっている。

～若い方へのメッセージ～

異動により複数の部署を経験したが、子供の急病などで早退や欠勤することがあっても、一様に理解を示してくれたことで、とても仕事と子育ての両立し易い環境だと感じている。急に休んでも他の人が代わりに対応してくれる姿勢は、子供の有無に関わらず、職員本人が病気になることもあるので、お互いにサポートし合う気持ちがあれば乗り切れるものだと思う。



WEB開催により産休・育休中の方にもご自宅から気軽にご参加いただくことができました。

無料 マタニティ白衣 レンタルサービスのご案内

当院に勤務する妊娠中の女性医師を対象としたマタニティ白衣等の無料貸出サービスを実施しています。

この度、ご利用希望者をお待たせすることのないよう追加購入しました。レンタル詳細については当センターのホームページでご確認の上、お申込ください。

この度、ご利用された歯科口腔外科の西田春香先生から感想をご寄稿いただきましたので、ご紹介いたします。



お腹が膨らみ始め、スクラブ用のズボンがきつくなっていた時にマタニティ白衣のレンタルサービスがあることをポスターを見た方から教えてもらい利用させて頂きました。私は白衣とスクラブズボンをお借りしました。白衣は私にはサイズが大きすぎたので主にズボンとスクラブを利用していました。お腹が大きくなっても全くきつならず、ゆったりしていて本当に助かりました。借りたいとご連絡を差し上げた所、すぐに準備して頂きありがたかったです。

クリーニングに出すたびに何を出したのかを連絡しなければならなかったのですが、何度も忘れてしまい申し訳ありませんでした。週の前半の方に無意識にクリーニングに出してしまった場合、何を何枚出したのか自分自身把握できませんでした。連絡をしなくてもよくなればより一層このサービスが使いやすくなるかと思えます。白衣レンタルサービスのことを知らない方も多いと思うので、周りの妊婦さんにこのサービスのことを伝えたいと思います。とても助かるサービスを本当にありがとうございました。

【歯科口腔外科 医師 西田春香】

病児保育室

2021年1月
オープン予定

神戸大学医学部附属病院は、教職員が利用することのできる病児保育室を2021年1月、開室することになりました。

職員が勤務の都合により、家庭で病児を保育することが困難な場合、一時的にお預かりし保育を実施するものです。保育スタッフがマンツーマンで対応するため、安心して仕事に専念していただけます。詳細は、後日ポスターでお知らせします。



教職員はもちろん病気のお子さんにも親しみやすい病児保育室の愛称を募集します。親近感のある愛称を考えていただけませんか。たくさんのご応募をお待ちしています。

愛称

募集

～申込方法～

【当センターHPの「メールでお問合せ」から】

件名：病児保育室愛称応募
表記法：ひらがな又はカタカナ
文字数：6文字以内
締切：12月9日（水）16時まで
決定：ポスターにて公表

第8回 ワークライフバランスセミナー

日時 11月24日（火）9:00-16:00

WEB開催

医学部医学科4年生を対象とした「第8回ワークライフバランスセミナー」が開催されました。

医師としてのキャリアを積み重ねながら身の周りに起きるライフイベントにどう対応していくのか、自分自身の問題として考える終日の講義です。今年度は、コロナ禍中につきWEB開催となりました。

当日はブラッシュアップセンターによる「産休・育休の制度」説明や学内外の先輩医師の貴重な体験談を聴いていただきました。

学生の皆さんは、これまで考えたこともなかった事例について検討を重ねることで、近い将来予想されるライフイベントに関心をもつきっかけとなったことでしょう。今後、医師としてのキャリアを積み重ねていく上で、この体験がお役に立てば幸いです。

お昼講演会のお知らせ

第22回 ママドクターミーティングを開催します。



何とかなる！
子連れフルタイムライフ

WEB開催

日時：12月9日（水）12:00-13:00

講師：眼科 特定助教 上田香織 先生

申込方法：当センターHPからお申込み
「講演会・研修会のお申込」

対象：ご興味のある方はどなたでも

産休中の方 男性も
育休中の方 学生さんも
もどうぞ～ どうぞ～

途中参加
途中退室
OK

【編集・発行】

神戸大学医学部附属病院 D&Nplus ブラッシュアップセンター
〒652-0032 神戸市兵庫区荒田町2丁目1-5 地域医療活性化センター1階
TEL：078-382-5266 / FAX：078-382-5837

E-mail：brushup@med.kobe-u.ac.jp HP：http://www.hosp.kobe-u.ac.jp/dn/